

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
21ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままな
ひとこと、ちょっと言いたいひ
とことを、お待ちしております。

読者の伝言板

- 真夏の暑さをあまり感じないうちに秋の空になってしまいました。農家ではありませぬが農作物の生育が心配です(エコカーさん 45歳・八橋)
- 秋といえは山歩きの季節です。すがすがしい青空のもと、自然の中を歩けば気分スッキリ、リフレッシュ！(セカンドライフさん 64歳・飯島)
- 健康のため早朝ジョギングをしています。おつくうな日もあるのですが、走った後のそう快感と満足感がたまたらず続いています。少し物足りないうような夏も過ぎ、走っているとき冷たさを感じるようになり、グローブを準備し、ウェアも少しずつ長くなっています(トロロさん 57歳・下新城)
- 「子育てクーポン」を使い忘れていることに気がつきました。いろいろな人とふれあえる企画に利用したいです(ひよさん 33歳・土崎)
- 去年の今ごろはお腹が大きかったわたし。今はお腹はぺつちゃんこの代わりに隣にはいつもマイジュニア。おっぱいを飲む我が子に幸せを感じてデレデレの日々を送っています。これから食欲の秋。おいしいおっぱいを飲んでもらうために、健康的な食事をたくさん食べたいです(丈ちやんママさん 37歳・新屋)
- 一人暮らしでデイサービスが楽しみです。この前夏祭りで竿燈が来て3年ぶりに本物を見て感動しました。また、そばの幼稚園の園児たちが来て踊りを見せてくれたり、肩たたきをしてくれたりしてうれしくて涙が出ました(工藤愛子さん 75歳・手形)
- 安心して介護を受けられるいつまでもそんな世の中であってほしいと願わずにはいられません。地域包括支援センターが秋田市介護事業の大きな柱であり続けてほしいと期待しています。がんばってください(石井理奈さん 31歳・仁井田)
- 毎日、孫の幼稚園の送り迎えに季節の花々を見ることができとても楽しいです。昨日は秋の花コスモスが咲き始めていました。夏はひまわりが

地域の話 おしえて!!

10月4日(日)、美短で第2回土崎vs新屋大綱引き対決 互いに気合い十分。軍配はどちらに!?



昨年は新屋チームが勝利を手にしました(昨年の対決の様子)

10月4日(日)、新屋の秋田公立美術工芸短大で「第2回土崎vs新屋大綱引き大会」が行われます。古くからライバル関係にあったと言われている両者ですが、昨年11月にセリオンで行われた第1回大会の後、熱い男たちの間には強い絆が結ばれたようです。

お互いのプライドをかけたこの勝負。土崎チームの保坂雄大さん(港商友会会長)は「昨年は悔しい思いをしたが、今年はみんなの気持ちをついに一つにしてぜひ勝ちたい」と雪辱に燃えています。一方、地元新屋で土崎チームを迎え撃つ新屋チームの渡辺覚さん(百三段新屋会大将)も「昨年は僅差で勝った。気を引き締めて連覇に向けてがんばりたい」と意気揚々です。

今回の対決は、「秋田活性化総合フェスタ 新屋ももさだ劇場」のイベントとして行われます。熱い勝負を応援に行こう!



穂積市長が立ち会って調印式(8月17日)。大会当日は土崎の曳き山や竿燈が勝負に華を添えます



おしゃべりかわらばん

昔、親から聞いた話

語り手の自然な話し振りがとても上手で、聞き入ってしまいました。身振りを入れた寸劇風の話では、語り手と一体になった感じが良かったです。子どものころ親から聞いたお話もあり、とても懐かしく思いました。



セリオンに「秋田弁の昔つこ」を聞きに来た齋藤ヨウ子さん(中通)



美短を知ってほしい

9月19日・20日は、公立美術工芸短大の大学祭です。みなさんに美短がどういうところか見てもらってこそ、学生も美短も成長できるので、ぜひ遊びに来てください。オススメは両日午後1時からのアートライブです。

美術工芸短大 大学祭実行委員長の植村宏木さん(工芸美術学科2年)

農家の意欲を感じました

当日はあいにくの雨でしたが、県農業試験所や雄和の牧場見学、地元の食材で作った昼食など、楽しい1日でした。四ツ小屋の農家のかたからは、農業への意欲的な取り組みについての話を聞き、秋田の農業に希望を感じました。



「秋田の農業エンジョイデー」に参加した金沢国太郎さん(新屋)

ゆっくりやさしい車

幼稚園に自転車タクシー(ペロタクシー)が来たので、乗せてもらったよ。静かにゆ〜っくり進んでとても楽しかった！ 排気ガスを出さないから環境にやさしい乗り物なんだって。環境は大事にしないとね。



ペロタクシーに乗った木村花子ちゃん(右)と大山陽愛(はるあ)ちゃん(旭川幼稚園)

ふだんの備えが大切

訓練では、秋田市赤十字奉仕団の一員として避難者への応急給食の炊き出しを行いました。また、日ごろ町内で、災害時に逃げ遅れた人がいないかを確認する訓練も行っています。“備えをしっかりと”が大切ですね！



市総合防災訓練で炊き出しを担当した齋藤弘子さん(仁井田)



8月27日、今回が100回目となる「秋田弁の昔つこ」がセリオンで開催されました。軽妙な語りや手を使った体操など楽しい内容にお客さんも大喜び！

いっぱいでした。春には孫も小学生になります。それまでにどんな花々が咲くのかとても楽しみです(淀川和子さん 61歳・茨島)

●小さな家庭菜園を作っていますが、ナスでもトマトでもキュウリでも、市販の野菜より自家製のほうがおいしく思います。不思議ですね(安藤キミ子さん 80歳・牛島)

●初めての家庭菜園では、思った以上にたくさん収穫できて、食べ切れないほどに。家族みんなで楽しんでいきます(ゴルフさん 37歳・御所野)

係からひとこと

最近、街でランニングしている人をよく見かけます。ランニングやウォーキングがブームということで、走っている人の年齢も幅広く、以前より女性が多くなった気がします。時間も早朝や日中、夜などさまざまで、みなさん自分のペースやスタイルで走っています。

気が涼しくなる9月はランニングや各種スポーツをするにはもってこいの季節ですね。連休には各地でマラソン大会などが開催されるようです。気軽なファミリーマラソンなら子どもと一緒に参加してみようかな。(吉田)



初期消火を迅速に

8月28日、秋田市総合防災訓練が雄物川河川敷などで行われました。秋田西中学校のグラウンドでは初期消火の訓練が行われ、いざというとき慌てないように、消防士の指導のもと地元の消防団員などが消火器の使い方などを教わりました。



早期発見が大事

9月は「がん征圧月間」。市保健所では、9月3日、アゴラ広場でがん検診をPR。会場で胸部検診を受けた牧野エリ子さん(手形)は「がんが知らない間に進行していたら恐いですからね」と、毎年の受診が重要だと話してくれました。